

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目 次 >

- 1 【教育振興】中学生の読書推進（その2） ～奥州市の実践事例～
- 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
- 3 【編集後記】あつしのひとりごと

1 【教育振興】中学生の読書推進（その2） ～奥州市の実践事例～

読む読まない それが人生の 分岐点（優秀賞；花巻東高1年 本堂勇太）
本との出会い 新たな自分の 道しるべ（奨励賞；江刺東中3年 関村美優）

岩手県読書推進運動協議会が実施した平成23年度読書推進標語における中高生の入賞作です。どちらも、本との出会いが生き方に大きな影響を与えることを訴えています。読書の大切さは、どの中高生もわかっていることと思います。

県としては、本に親しむ“きっかけ”となるよう、現役中高校生の選書委員を交えて「いわての中高生のためのおすすめ図書100選（愛称；いわ100）」を作成し、2月に県内すべての中高生に配付しました。

先日、今般の東日本大震災津波等により紛失した中高生を確認し、再び配付したところですので、現時点で県内すべての中高生が持っていることとなります。紛失状況の調査に併せて、各学校においてこのブックリストをどのように活用したのかについても教えていただきました。ベスト5は以下のとおりです。

< 「いわ100」活用例 >

- | | | |
|----|------------------|----------------|
| 1位 | 図書の購入時に参考した | 92校（中67校・高25校） |
| 2位 | 「いわ100」の本を購入した | 8校（中5校・高3校） |
| 2位 | 図書便りで図書を紹介している | 8校（中3校・高5校） |
| 4位 | 「いわ100」コーナーを設置した | 5校（中5校） |
| 5位 | 授業で活用している | 3校（中3校） |

第57号に引き続き、奥州市で取り組んでいる「地域の読書ボランティアによる中学生へのブックトーク・読み聞かせ」事業の紹介です。中学生への読み聞かせは、市内12校に46回開催され、延べ154人の読書ボランティアの皆さんが訪問しました。これも、本に親しむ“きっかけ”づくりです。

「読み聞かせてもらってうれしかったと言われ、ボランティアをして良かった。中学生から元気をいただいた。」「身を乗り出すように見つめる生徒もいて、読み手もつい力が入った。」「真剣な目がかえってきて、感動した。」・・・これらの読書ボランティアの感想が、中学生に読み聞かせをする意義を伝えています。中学生も、学校外の地域の方の読み聞かせを楽しみにしています。

★中学生への読み聞かせ実践（奥州市；22年度報告書より）

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/ousyuu_tyuugakusei_yomikikase.pdf

最後に、「いわ100」の選書委員でもあった三船恭太郎君が「全国小・中学校作文コンクール」において2年連続3回目の文部科学大臣賞を受賞しました。おめでとうございます。作品を掲載しますので、ご覧いただきたいと思います。

★「復興の光」（岩手大学教育学部附属中3年 三船恭太郎）

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/mihunekun_sakubun.pdf

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）じゃん、じゃか、じゃーん！今日は、スペシャル・ゲストをお招きしていま～す。

（振ちゃん）ひゅー、ひゅー！

（教ちゃん）盛岡市立上田小学校PTA広報部長の広美ちゃんです。

（広美ちゃん）はじめまして！よろしく、お願いします。

（教ちゃん）メールマガジン第53号で紹介しましたが、PTA広報に私たちのイラストを載せてくださったお母さんです。

★第53号 ⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/merumaga53.pdf>

（広美ちゃん）はい。イラストを使いながら、難しそうなイメージの「教育振興運動」のことを保護者や地域の方にわかりやすく紹介したいと思って作りました。

（振ちゃん）僕ね、7回も載ってるの。教ちゃんは6回だけだ。へーんだ。

（教ちゃん）「じっくり読書」「たっぷり体験」「しっかり生活」と様々な取組が紹介されていますね。

（広美ちゃん）そうなんですよ。上田小学校区では、どのような活動をしているのか調べてみたら、何か特別なことをするのではなく、私たちが日頃取り組んでいるPTA活動や子ども会活動も教育振興運動の一環であり、身近な運動であるということがわかりました。

（振ちゃん）そーなんですよ、川崎さん。（おさむ師匠の口調で）

(教ちゃん) オホン、広美ちゃんです！そう、活動そのものは、P T A活動や子ども会活動と同じですよ。何のために活動するのか、その活動の目的（課題の解決）を達成させるために5者がすべきことは何なのか、それを意識して取り組むことが教育振興運動なのですよ。今日は、ありがとうございました。

(広美ちゃん) こちらこそ、ありがとうございました。

(振ちゃん) これで、広美ちゃんも有名人だよ！ひゅー、ひゅー！

★上田小P T A広報

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/uedasyou_ptakouhou.pdf

3 【編集後記】あつしのひとりごと

11月20日（日）、仙台市で開催されたN P O法人セーブ・ザ・チルドレン主催の「東北子どもまちづくりサミット」に出席してきました。同N P O法人がおこなった被災地域の子どもたちの意識調査は、メールマガジン第49号でも紹介したところです。

★第49号 ⇒ <https://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/merumaga49.pdf>

このサミットでは、陸前高田市・山田町・石巻市の子どもたちが、6月下旬から練り上げてきた「まちづくり」の意見や県・市町村が策定した復興計画について、堂々と意見を発表していました。とても頼もしかったです。

教育振興運動は、子ども・家庭・学校・地域・行政の連携と言いながら、集約大会や会議においては、子どもが不在であることが課題であると感じている方もいらっしゃると思います。セーブ・ザ・チルドレンの取組は、子どもの参画を大人が支えて地域づくりにあたる活動の手本となる・・・と感じてきました。

★サミットの様子

⇒ http://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=525

★活動の様子（岩手日報12月5日版より）

⇒ <http://www.iwate-np.co.jp/hisaichi/h201112/h1112054.html>

3市町の子どもたちが合宿をおこなった青森県からは、アトラクションの応援参加があり、スコップ三味線で「千恵っ子よされ」を披露。合宿で一度体験してきた子どもたちも楽しそうに、弾いて(叩いて?)いました。

仙台からの帰り道、早速、某ホームセンターでスコップと大型栓抜きを購入し、ただ今、三味線演奏の「ダイヤモンド・ヘッド」に合わせて練習中です・・・。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第59号は、12月27日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～57号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～